

平成25年度 公益財団法人 日本体育協会 公認コーチ養成講習会

受講の手引き

《目次》

はじめに	P.1
公認スポーツ指導者養成の基本コンセプト	P.2
受講の流れ	P.3
受講のお申込みから認定まで	P.4～8
公認コーチ養成講習会 共通科目カリキュラム	P.9～10
共通科目Ⅱ・Ⅲ 集合講習会 受講会場一覧 / 基本日程表 / 会場案内図	P.11～12
共通科目免除概要および受講料	P.13
公認コーチ養成講習会「受講希望者個人調書」の記入について	P.14
受講希望者個人調書 記入例	P.15
受講希望者個人調書	P.16
公認コーチ養成 中央競技団体連絡先／講習会に関するお問い合わせ先	P.18



競技名	
受講番号	
氏名	

※受講番号は、受講決定時に通知します。
※講習会に参加する際には、この「受講の手引き」をご持参下さい。
※資格認定まで、この「受講の手引き」を保管下さい。

はじめに

近年の国際化、情報化、少子高齢化等の進展などによる急激な我が国の社会状況の変化とともに、私たち日本人の価値観やライフスタイルも大きく変わろうとしています。そのような中でスポーツは、人間の思考・言動の本源的欲求に応えるほか、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすとともに、社会生活に必要な人間の資質の形成などに重要な役割を果たすものであるという認識が高まっております。

このように、スポーツは、健康の増進や体力の向上のみならず、人間にとって生涯を生きていく上で不可欠な文化として、また、現代社会における高齢化の進展や生活習慣病の増加による医療費の増大、青少年の健全育成や体力低下の問題、余暇時間の増加など諸課題に対応するものとしての役割が期待されはじめています。

また、スポーツは、人間の可能性の極限を追求する営みであるという意義を有しており、競技者の極限へ挑戦するパフォーマンスは、スポーツへの関心を高め、スポーツの振興に寄与するとともに、すべての人々に夢や感動を与えるなど、健全で活力のある社会の形成にも貢献することが期待できます。したがって、21世紀の社会において、国民一人ひとりの生活の中に、スポーツを位置づけたライフスタイル(スポーツライフスタイル)を構築することは大きな意義があります。

本会では、創立100周年を記念して2011年に公表した「スポーツ宣言日本ー21世紀におけるスポーツの使命ー」の具現化に向けた取り組みを本格化していきます。これまでの国民スポーツ振興の基本理念であった「生涯スポーツ社会の実現」を包含しつつ、さらに一歩進めて新たに「スポーツ立国の実現」を掲げるとともに、それに基づく各種事業推進の方向性を示した新しいスポーツ推進方策を策定してまいります。

これからの100年に向けて、スポーツに携わるすべての方々や団体・組織等と連携・協力し、スポーツを通して「公正で福祉豊かな地域生活の創造」、「環境と共生の時代を生きるライフスタイルの創造」、「平和と友好に満ちた世界の構築」の3つの使命の達成に努める所存です。

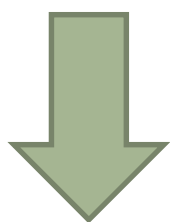
これらの使命を達成するために、スポーツ指導者が果たす役割は極めて重要です。

スポーツは、あくまでもプレイする本人が、それぞれの目的のため、自主的・自発的に行うものであり、本人のやる気があってはじめて行われるものです。スポーツ指導者は、プレイヤーのやる気を導き出し、自立したプレイヤーを育てることが重要となります。そして、その指導法は、スポーツ医・科学など様々な知識に裏付けられたものでなければなりません。

そのためにも、本会「公認スポーツ指導者制度」で定めるカリキュラムに基づき、スポーツ指導者としての能力を高めるとともに、常に自己研鑽に努め、社会的に信頼される指導者となり、これまで以上に我が国スポーツ振興の中核として活躍されることを期待します。

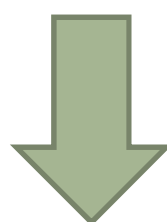
公認スポーツ指導者養成の基本コンセプト

公益財団法人日本体育協会及び加盟団体等は、生涯スポーツ社会の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」を構築するため、その推進の中心となるスポーツ指導者を養成する。



公益財団法人日本体育協会 公認スポーツ指導者とは

公益財団法人日本体育協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者とは、スポーツ医・科学の意識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることのできる者である。



望ましい公認スポーツ指導者とは

公認スポーツ指導者は、日常の「生活／暮らし」にスポーツを取り入れることによって「豊かな人生」を得られることを広く一般に定着させるとともに、「仲間と楽しく行いたい」「うまくなりたい、強くなりたい」さらに「健康になりたい、長生きしたい」という欲求に応えられるよう、その実現に向けて「サポートする」という役割を持つ。

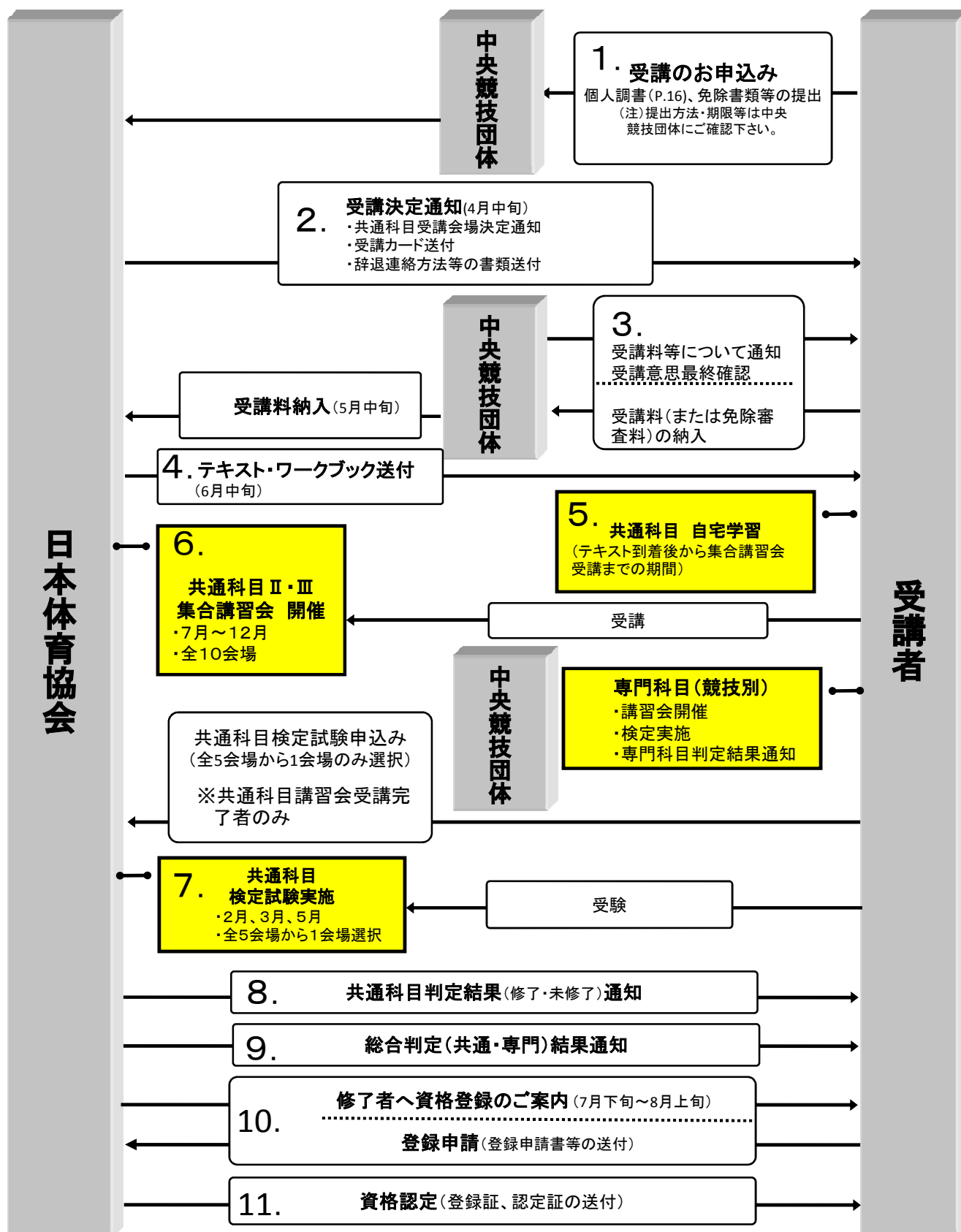
また、常に自己研鑽を図り、自ら成長・発展するとともに、社会的評価が得られるよう努力することが重要である。

スポーツ指導者ができること

- ・スポーツに初めて出会う子どもたちが、安心してスポーツ活動を楽しめるようサポートすること
- ・どの年代からでも、スポーツを始められるようサポートすること
- ・生涯を通じてスポーツを楽しむ方法や機会を提供すること
- ・スポーツ経験のない人でも「スポーツ愛好家」に導くようサポートすること
- ・技能をもっと高めたいという、ジュニアからトップレベルまでの競技者の願いが実現するようサポートすること
- ・スポーツを通して人間としてのマナー、エチケットなど豊かな人間性を涵養すること

受講の流れ（申込みから認定まで）

（注）以下は基本的な受講の流れ及び時期を示しており、各競技別に手続きなどが異なる場合がございます。



（注）通知時期などについては、手引き作成時点における予定となります。

— 次ページからは各手順を詳細に説明します —

受講のお申込みから認定まで

公認コーチ養成講習会は、日本体育協会が計画・実施する共通科目講習会と各中央競技団体が計画・実施する専門科目（競技別）講習会から構成されています。それぞれの講習を受け、検定に合格（修了）し登録手続きを完了することにより、公認コーチ資格が認定されます。

以下の流れでは、主に受講申込みから資格認定にいたる概要を示しており、共通科目受講の流れを中心として記載しております。

専門科目の集合講習会および検定試験の詳細などについては、各中央競技団体にお問い合わせください（各中央競技団体連絡先 P. 18）。

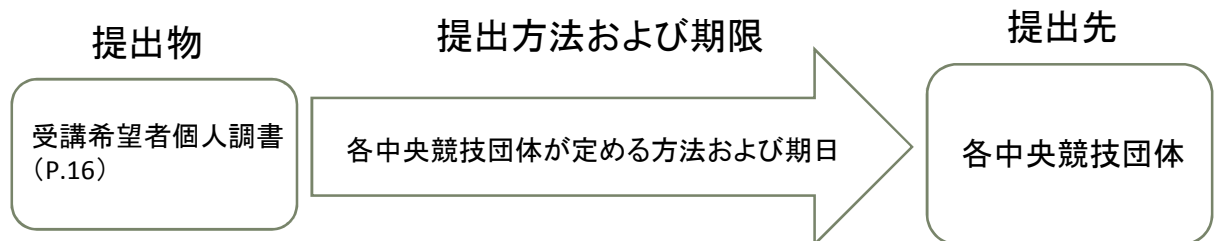
1. 受講のお申込み

< 受講の条件 >

受講する年の4月1日現在、満20歳以上の者。

（注）競技ごとに年齢およびその他の条件を別途定めております。

詳細は各中央競技団体にご確認ください。



【免除申請について】

- ・共通科目の免除申請は、本誌P.13の「共通科目の免除概要および受講料」で免除申請に必要な書類をご確認の上、申請に必要な書類を添付下さい。
- ・共通科目免除要件に該当する保有登録資格が有効期限内の方のみ免除対象となります。
- ・受講申込み後の免除申請はできません。
- ・専門科目の免除申請については、各中央競技団体にご確認下さい。

注意事項

- ・受講有効期限は、受講開始年度を含め4年間です。
- ・他の本会公認スポーツ指導者資格との同時受講はできません。

2. 受講者の決定(4月中旬)

日本体育協会(以下「本会」)では、各中央競技団体から提出された受講希望者個人調書や免除申請書類などの関係書類を確認した後、受講決定者へ下記の書類を送付いたします。

送付物

- ・受講決定通知兼共通科目集合講習会受講会場決定通知
- ・受講カード
- ・共通科目集合講習会受講会場案内図
- ・共通科目受講会場変更届
- ・住所変更届
- ・受講辞退連絡方法

3. 受講料(または免除審査料)の納入

受講料の納入については、受講決定者に各中央競技団体を通じて金額、納入方法、納入期日が案内されます。その案内に従い、お納め下さい。

共通科目	+	専門科目	=	合計額
18,900円		10,500円		29,400円

注意事項

- ・申込み時に免除を申請し、審査の結果免除が適用となった方については、免除内容に応じた受講料が中央競技団体より案内されます。免除内容に基づく共通科目受講料(または免除審査料)の詳細についてはP.13をご覧ください。
- ・受講料(または免除審査料)納入後に受講を辞退することはできません。また、納入後の受講料は返金いたしませんので予めご承知おきください。
- ・各中央競技団体の定めた期日までに受講料が納入されない場合は、受講決定を取り消します。

4. 共通科目テキスト・ワークブック送付(6月中旬)

受講料の納入確認後、受講決定者へ共通科目テキスト・ワークブックを送付いたします。

5. 共通科目の自宅学習とワークブックの提出について

共通科目は、集合講習会と自宅学習により構成されています。詳しくは、本誌P. 9～10をご覧ください。

Step1 教材が届きましたら自宅学習を進めて下さい。
集合講習会では、テキスト・ワークブックを用いて予め自宅学習をしていることを前提に進めます。講習会講師は、テキストに沿って詳しい内容を説明・解説し、新しい情報を伝えるような講義をいたします。

Step2 ワークブックはテキストに沿って作成したものです。解答や解説はございませんので、予習・復習や共通科目検定試験の自宅学習用として活用下さい。質問がある場合は、講習会時に講師へお尋ね下さい。

共通科目の免除のない方は、共通科目Ⅰのワークブックを集合講習会(初日のオリエンテーション終了後)にご提出いただきます。この提出がないと共通科目検定試験を受験することができません。

6. 共通科目集合講習会

(1) 受講にあたって

集合講習会は全10会場設定されており、各会場の会期はP. 11のとおりとなっております。受講者は、受講申込み時に必ず第1希望および第2希望の会場番号を『受講希望者個人調書』にご記入下さい。

会場ごとの人数などを本会で調整の上、受講決定通知にて受講いただく会場をお知らせいたします。なお、講義会場の収容能力、効果的な学習環境の確保のため一つの会場での受講者数は100～140名程度になるよう本会で調整するため、必ずしもご希望に添えない場合もございますので、予めご承知おき下さい。

(注) 集合講習会については、全ての講義を同一会場で受講いただきます。

(2) 講習会の参加にあたって

- ◆ 下記のものを必ずご持参下さい。
 - ・ 受講カード ※顔写真を必ず貼付しておくこと。
 - ・ 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲテキスト及びワークブック
 - ・ 筆記用具
 - ・ 受講の手引き(本書)

◆ 受講会場の変更および受講キャンセルについては、受講決定通知に同封される『受講会場変更届』により、必ずご連絡下さい。無断で講義を欠席した場合、以後の受講をお断りすることがあります。

◆ 講習会参加のための旅費・宿泊費については、全額自己負担となります。ホテル等の斡旋はございません。

- ◆ 共通科目の免除と受講必要講義
 - ・ 免除なし・共通科目Ⅰ免除・・・基本日程表(P.11)の初日から最終日まで(全15講義)
 - ・ 共通科目Ⅱ免除・・・基本日程表(P.11)の2日目から最終日まで(12講義)

(注) 講習会は基本日程表通りに進行する予定です。遅刻・早退は講義欠席と同様に取り扱います。

(注) やむを得ず、本年度受講できなくなった場合は、平成26年2月頃に本会より次年度の受講案内を送付いたします。

7. 共通科目検定試験

検定試験の受験資格は、下記条件を満たした方に与えられます。申込用紙は共通科目受講会場で配布いたします。

- ・共通科目集合講習会の全講義を受講した方
- ・共通科目Ⅰワークブック提出者（共通科目免除なしの方のみ）

（注）検定試験は、集合講習会とは別に検定試験日を設定して実施します。

◆検定試験予定期日

- ・平成26年2月初旬
- ・平成26年3月中旬
- ・平成26年5月中旬

※あくまでも予定ですので、上記の時期から変更する場合があります。

※2月と3月の試験を同一年度に受験することはできません。

◆検定試験問題出題内容

公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲテキストおよびワークブックをベースに出題します。

◆検定試験方式および配点等について

検定試験方式については、四肢択一のマークシート方式です。なお、受験科目区分ごとの配点等については下表のとおりです。

受験科目区分	配分			合計	合格基準 (総得点／満点)
	共通Ⅰ (1時間)	共通Ⅱ (1時間)	共通Ⅲ (2時間)		
共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	50問	50問	100問	200問	120点以上／200点
共通科目Ⅱ・Ⅲ	—	50問	100問	150問	90点以上／150点
共通科目Ⅲ	—	—	100問	100問	60点以上／100点

8. 共通科目検定試験結果

共通科目検定試験結果については、本会より受講者へ直接通知いたします。

9. 総合判定結果通知

共通科目・専門科目の検定結果を通知します。

◎共通科目、専門科目ともに修了の場合
→「10. 登録手続き」をご覧ください。

◎共通科目・専門科目が不合格（未修了）の場合
共通科目が不合格（未修了）の方は、次年度以降の検定試験を受験下さい。
専門科目が不合格（未修了）の方は、中央競技団体へご確認下さい。

◎共通科目・専門科目の講習会が未受講の場合
共通科目が未受講の方には、平成25年2月頃に本会より受講の案内を送付いたします。
専門科目が未受講の方は、中央競技団体へご確認下さい。

10. 登録手続き

共通科目と専門科目の双方の検定試験に合格された方は、本養成講習会修了者となり、7月下旬～8月上旬に登録の案内を送付いたします。書類が届きましたらその内容に基づき、登録申請のお手続きをお願いします。

この手続きをされないと、公認コーチに認定されませんのでご注意ください。

登録料について

- ・初年度の初回基本登録料 13,000円(4年間)
- ・4年後の更新時の登録料 10,000円(4年間)

これら基本登録料の他に、競技団体登録料が別途定められている競技があります。
(注) 詳細は、修了者に送付される「登録の案内」をご確認下さい。

11. 資格認定

上記10の手続きをされた方は、本養成講習会を修了した年の10月1日付で公認コーチとして認定され、本会より『認定証』と『登録証』を送付いたします。

なお、資格の有効期限は4年間となり、資格を更新するためには4年間の有効期限内に本会または中央競技団体が認める研修会を受講することが義務付けられております。この義務研修を受講されていない場合、資格を更新することができず資格を失効することとなります。

専門科目集合講習会および検定

- ・専門科目講習会の開催案内は、中央競技団体より送付されます。開催期間等詳細については、各中央競技団体へお問い合わせ下さい。なお、共通科目集合講習会と日程が重複する場合がありますので予めご注意ください。
- ・専門科目の検定・審査は中央競技団体が行い、その結果については、各受講者に通知されるとともに本会にも通知されます。

注意事項

受講有効期限は、4年間となっております。有効期限内に共通・専門の各講習会を受講し、検定に合格する必要があります。

有効期限内に修了とならなかった場合は、受講有効期限切れとなり、受講資格を失効いたしますのでご注意ください(受講実績も取り消し)。

受講有効期限内に、受講を辞退する場合は、競技団体へお問い合わせください。

公認コーチ養成講習会 共通科目カリキュラム

競技別指導者資格『コーチ』について

本会公認資格カリキュラム相関図

◆役割

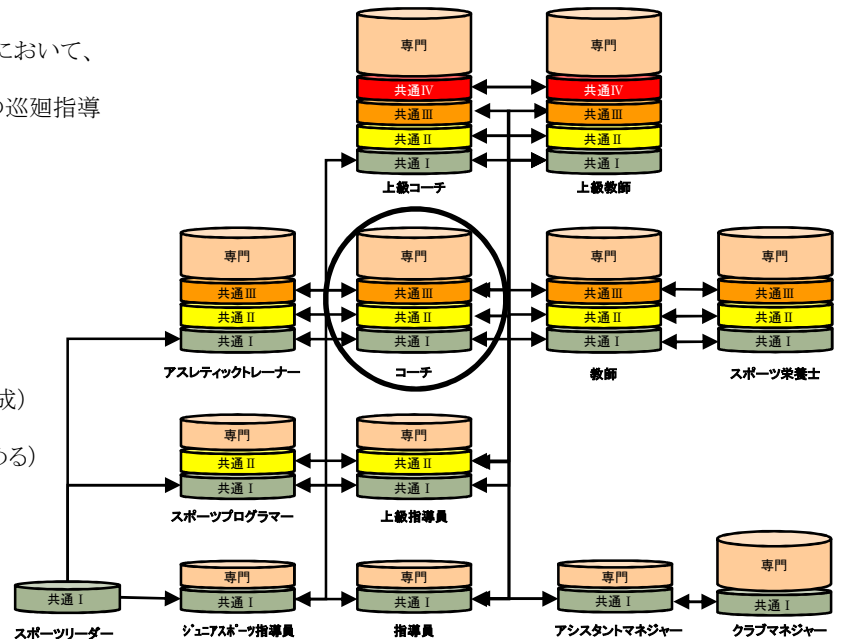
- ・地域において、競技者育成のための指導にあたる。
- ・広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる
- ・広域スポーツセンターが実施する地域スポーツクラブの巡回指導に協力し、より高いレベルの実技指導を行う。

◆認定により備えられる知識と能力

- ・競技者育成プログラムの理念と方法
- ・国内大会レベルの競技者に対する高度な知識

◆カリキュラム

- ・共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ：152.5時間
(集合講習会と自宅学習により構成)
- ・専門科目：60時間以上
(各中央競技団体がそれぞれ定める)



	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目Ⅰ	文化としてのスポーツ	スポーツの概念と歴史(スポーツの歴史的発展と現代スポーツの考え方、スポーツを取り巻く環境)	0	3.75	3.75
		文化としてのスポーツ(スポーツの文化性、文化的内容、スポーツ観、スポーツ規範、ボランティア)			
	指導者の役割Ⅰ	スポーツ指導者とは(スポーツ指導者の必要性、スポーツ医学に関する知識の必要性)	0	5	5
		指導者の心構え・視点(医学スタッフとの連携、指導者として必要なコミュニケーションスキル)			
		競技者育成プログラムの理念(一貫指導システム、指導者の役割、ネットワーク)			
	トレーニング論Ⅰ	体力とは	0	3.75	3.75
		トレーニングの進め方(原理、原則、トレーニング処方)			
		トレーニングの種類			
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅰ	スポーツと健康	0	7.5	7.5
		スポーツ活動中に多いケガや病気			
		救急処置(心肺蘇生法、RICE、緊急時の対応などを含める)			
	スポーツと栄養	スポーツと栄養(五大栄養素、栄養のバランス、食事の摂り方、水分補給)	0	2.5	2.5
	指導計画と安全管理	指導計画のたて方(集団の指導計画、個人の指導計画、期別計画)	0	3.75	3.75
		スポーツ活動と安全管理(個人的要因、環境的要因、競技特性)			
	ジュニア期のスポーツ	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴	0	5	5
		発育発達期に多いケガや病気			
		発育発達期のプログラム			
	地域におけるスポーツ振興	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり(日本のスポーツ振興施策の基礎を含む)	0	3.75	3.75
		地域スポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブを中心として)の機能と役割 (スポーツ少年団の役割を含む)			
すべて自宅学習 ←			0	35	35

公認コーチ養成講習会 共通科目カリキュラム

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目Ⅱ	社会の中のスポーツ	社会の中のスポーツ	2	3	5
		我が国のスポーツプロモーション			
	スポーツと法	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任	2	3	5
		スポーツと人権(虐待、セクシュアルハラスメントなど)			
	スポーツの心理Ⅰ	スポーツと心	3	4.5	7.5
		スポーツにおける動機づけ			
		コーチングの心理			
	スポーツ組織の運営と事業	総合型地域スポーツクラブの育成と運営	0	10	10
		スポーツ事業のマーケティング			
		スポーツ事業のプロモーション			
	対象に合わせたスポーツ指導	中高年者とスポーツ	0	7.5	7.5
		女性とスポーツ			
		障害者とスポーツ			
集合講習の7時間は、基本日程表(P.11)の第1日目で行う ←			7	28	35

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目Ⅲ	指導者の役割Ⅱ	プレーヤーと指導者の望ましい関係	3	4.5	7.5
		ミーティングの方法			
		競技者育成プログラムの理念に基づく展開			
	アスリートの栄養・食事	アスリートの栄養摂取と食生活	2	3	5
	スポーツの心理Ⅱ	メンタルマネジメント(メンタルトレーニング、プレッシャー、あがり、スランプの対処法含む)	4	6	10
		指導者のメンタルマネジメント			
	身体のしくみと働き	運動器のしくみと働き	4	6	10
		呼吸循環器系の働きとエネルギー供給			
		スポーツバイオメカニクスの基礎(歩く、走る、跳ぶ、泳ぐ、投げる、蹴るなど)			
	トレーニング論Ⅱ	トレーニング理論とその方法	8	12	20
		トレーニング計画とその実際			
		体力テストとその活用			
		スキルの獲得とその獲得過程			
	競技者育成のための指導法	トップアスリートを育てるために持つべき視点	4	6	10
		トップアスリート育成・強化の方法とその評価			
		競技力向上のためのチームマネジメント			
		競技向上のための情報とその活用			
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅱ	アスリートの健康管理	8	12	20
		アスリートの内科的障害と対策			
		アスリートの外傷・障害と対策			
		アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画			
		コンディショニングの手法(ストレッチング、テーピング、アイシング、スポーツマッサージ)			
		スポーツによる精神障害と対策			
		特殊環境下での対応			
		ドーピング防止(ドーピングコントロールを含む)			
集合講習の33時間は、基本日程表(P.11)の第2～5日目で行う ←			33	49.5	82.5

共通科目Ⅱ・Ⅲ 集合講習会 受講会場一覧

会場番号	都市	期 日	会 場 名
第 1 会場	東京	7月30日(火)～8月3日(土)	KFCホール 〒136-0075 東京都墨田区横網1-6-1 TEL:03-5610-5801
第 2 会場		8月19日(月)～8月23日(金)	
第 3 会場		9月4日(水)～9月8日(日)	
第 4 会場		10月11日(金)～10月15日(火)	
第 5 会場	名古屋	11月27日(水)～12月1日(日)	名古屋クラウンホテル 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-8-33 TEL:052-211-6633
第 6 会場	大阪	8月4日(日)～8月8日(木)	チサンホテル新大阪 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 TEL:06-6302-5571
第 7 会場		9月27日(金)～10月1日(火)	
第 8 会場		10月22日(火)～10月26日(土)	
第 9 会場	福岡	7月20日(土)～7月24日(水)	TKPガーデンシティ博多 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-4-8 サットンホテル博多シティ5階 TEL092-474-5111
第 10 会場		10月26日(土)～10月30日(水)	

(注)5日間すべての講義を出席可能な会場をお選び下さい。

共通科目Ⅱ・Ⅲ 集合講習会 基本日程表

時刻	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	時刻
9:00	受付(9:30～)	指導者の役割(2h) ・プレーヤーと指導者の 望ましい関係 ・ミーティングの方法	身体 のしくみと働き① (2h) ・運動器のしくみと働き	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅱ (内科:3h) ・アスリートの健康管理 ・アスリートの内科的障害と対策 ・特殊環境下での対応 ・ドーピング防止 ・スポーツによる精神障害 と対策	トレーニング論Ⅱ①(4h) ・トレーニング理論とその方法 ・トレーニング計画とその実際	9:00
10:00	<開講式>10:00～ <制度ガイダンス>10:05～ <オリエンテーション>10:25～					10:00
11:00	休憩 11:00～11:10					11:00
11:10	社会の中のスポーツ (2h) ・社会の中のスポーツ ・我が国のスポーツプロモーション					アスリートの栄養・食事 (2h) ・アスリートの栄養摂取と 食生活
12:00		12:00				
13:00		13:00				
13:10	<お昼休み> 13:10～14:10	<お昼休み> 13:10～14:10	<お昼休み> 13:10～14:10	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅱ (外科:3h) ・アスリートの外傷・障害と対策	<お昼休み> 13:00～14:00	13:10
14:00	スポーツと法(2h) ・スポーツ事故における スポーツ指導者の法的責任 ・スポーツと人権	競技者育成のための 指導法① (3h) ・トップアスリートを育てる ために持つべき視点 ・トップアスリート育成・強化 の方法とその評価	スポーツの心理Ⅱ (4h) ・メンタルマネジメント ・指導者のメンタルマネジメント			休憩 16:00～16:10
14:10				14:10		
15:00				15:00		
16:00				16:00		
16:10	休憩 16:10～16:20	競技者育成のための 指導法②(2h) ・競技力向上のためのチーム マネジメント ・競技向上のための情報と その活用		スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅱ (AT:2h) ・アスレティックリハビリテーションと トレーニング計画 ・コンディショニングの手法		16:10
16:20	16:20					
17:10	スポーツの心理Ⅰ (3h) ・スポーツと心 ・スポーツにおける動機づけ ・コーチングの心理					休憩 17:10～17:20
17:20		17:20				
18:00		18:00				
18:10		18:10				

19:20

- ・第1日目の講義は共通科目Ⅱの7時間分(網掛け部分)です。
- ・共通科目Ⅱが免除の方は、1日目の開講式等への出席は不要ですので、2日目より受講下さい。
- ・共通科目Ⅰが免除の方は、講習会における免除はございませんので、1日目から受講下さい。
- ・第5日目は、講義終了後に事務連絡をし、その後解散となります。

共通科目Ⅱ・Ⅲ 集合講習会 会場案内図

第1～4会場 KFCホール

住所	〒136-0075 東京都墨田区横網1-6-1
交通	JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分。 地下鉄：都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出入口に直結。
TEL	03-5610-5801



第5会場 名古屋クラウンホテル

住所	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-8-33
交通	JR名古屋駅から徒歩15分、地下鉄伏見駅から徒歩5分。
TEL	052-211-6633



第6～8会場 チサンホテル新大阪

住所	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19
交通	JR新大阪駅から徒歩6～7分、地下鉄御堂筋線新大阪駅から徒歩5分、地下鉄御堂筋線西中島南方駅から徒歩5分、阪急京都線南方駅から徒歩5分。
TEL	06-6302-5571



第9・10会場 TKPガーデンシティ博多

住所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-4-8
交通	JR／地下鉄博多駅博多口から徒歩5分。
TEL	092-474-5111



共通科目免除概要および受講料

共通科目	保有資格	免除内容	提出書類	受講料・ 免除審査料	備 考
1. 共通科目 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	(1)他競技の公認上級コーチ・上級教師	共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳの 集合講習・検定課題の免除	登録証(写)	全額免除	資格が登録有効期限内であること
	(2)本会公認以外の他団体認定の上級教師		3,150円		
	(3)日本オリンピック委員会ナショナルコーチアカデミー修了者		修了証(写)	全額免除	
2. 共通科目 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	(1)公認スポーツトレーナー1級	共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ 自宅学習・集合講習・試験の免除	登録証(写)	3,150円	資格が登録有効期限内であること
	(2)公認スポーツトレーナー2級	共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ 自宅学習・集合講習の免除(試験は必須)			
	(3)公認教師・上級教師	共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ 自宅学習・集合講習・試験の免除	登録証(写)	全額免除	資格が登録有効期限内であること
	(4)公認フィットネストレーナー(SP2種)				
	(5)公認アスレティックトレーナー		修了証明書(写)	全額免除	
	(6)公認スポーツ栄養士				
	(7)本会免除適応コース(共通Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)修了証明書保有者		登録証(写)	全額免除 3,150円	資格が登録有効期限内であること
	(8)他競技公認コーチ・上級コーチ				
	(9)本会公認以外の他団体認定教師・上級教師		修了証明書(写)	全額免除	
	(10)公認コーチ・教師(C・B級含む)・スポーツ栄養士・AT 受講歴がある者で共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ修了者				
3. 共通科目 Ⅰ・Ⅱ	(1)公認上級指導員	共通科目Ⅰ＋Ⅱ 自宅学習・集合講習・試験の免除	登録証(写)	18,900円	資格が登録有効期限内であること
	(2)スポーツプログラマー		修了証明書(写)		
	(3)本会免除適応コース(共通Ⅰ・Ⅱ)修了証明書保有者		登録証(写)		資格が登録有効期限内であること
	(4)レクリエーションコーディネーター(H12年度以前取得者)				
	(5)健康運動指導士				
4. 共通科目Ⅰ	(1)スポーツリーダー ※スポーツ少年団認定員を含む	共通科目Ⅰ 自宅学習・集合講習会・試験の免除	認定証(写)	18,900円	
	(2)公認指導員		登録証(写)		資格が登録有効期限内であること
	(3)公認ジュニアスポーツ指導員				
	(4)公認アシスタントマネジャー				
	(5)公認クラブマネジャー				
	(6)野外活動指導者(ディレクター1級)				
	(7)レクリエーションコーディネーター(H13年度以降取得者)				
	(8)一部の免除適応コース承認校(大学)を卒業			卒業証明書(写)※	

- ・保有資格により、共通科目課程の免除できる範囲が異なりますのでご注意ください。
- ・共通科目の免除申請をする方は、「受講希望者個人調書」(P.16)に記入の上、上記該当の提出書類を貼付し中央競技団体へご提出下さい。
- ・共通科目ⅠもしくはⅡが免除の場合でも、共通科目Ⅰ・Ⅱのテキストおよびワークブックを送付するとともに、共通科目の受講料は18,900円となります。
- ・本会免除適応コース承認校のうち、一部の大学・学部の卒業生は共通科目Ⅰが免除となります(上記4.共通科目Ⅰ(8))。詳細は、本会HP「免除適応コース承認校(分類A・B)卒業生に対する免除対応について」をご参照下さい。
<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/226/Default.aspx#kyoutsuukamoku01>
- ※提出書類:『共通科目Ⅰ免除承諾』印が押された卒業証明書の写し
- ・平成16年度以前の「共通科目免除適応コース修了証明書」をお持ちの方の免除は下表のとおりです。お持ちの修了証明書で免除となる部分をご確認下さい。

平成16年度以前の「免除適応コース修了証明書」の種類		免除科目		
		共通科目Ⅰ	共通科目Ⅰ・Ⅱ	共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
1	C級スポーツ指導員／少年スポーツ指導員	○		
2	C・B級スポーツ指導員／スポーツプログラマー／少年スポーツ指導員／少年スポーツ上級指導員	○	○	
3	C級教師／C級コーチ／フィットネストレーナー	○	○	○
4	C・B級教師／C・B級コーチ／アスレティックトレーナー／フィットネストレーナー	○	○	○
5	C級コーチ	○	○	○
6	C・B級コーチ／アスレティックトレーナー	○	○	○
7	C級スポーツ指導員・少年スポーツ指導員・スポーツプログラマーⅠ期 共通科目修了証明書	○		
8	C・B級コーチ共通科目修了証明書	○	○	○

公認コーチ養成講習会 「受講希望者個人調書」の記入について

手引きをよくお読みいただき、講習会の内容・流れを十分にご理解・ご了承の上、ご記入下さい。

- ◆楷書でご記入下さい。
- ◆現在、本会公認スポーツ指導者資格講習会を受講中の方は、お申込みできません。
また、本講習会受講中に他資格を同時受講することも認められません。
- ◆共通科目受講希望会場は、必ず**第2希望まで**お書き下さい。
- ◆免除申請をする方は、下記項目をご確認下さい。
 - ・必ず免除申請に必要な書類を「受講希望者個人調書」(P.16)の裏面に添付しご提出下さい。
 - ・本会公認資格有資格者の方は、資格名、登録番号、有効期限をご記入下さい。
 - ・申込み後の免除の申請はできません。

個人調書の提出先：中央競技団体

(注) 受講申込み後から受講の決定(4月中旬)までの期間における住所の変更は、速やかに各中央競技団体にお知らせ下さい。

本講習会受講に際し取得した個人情報は、日本体育協会および中央競技団体が、受講管理および集合講習会で使用する名簿(氏名、受講番号、競技名)以外の目的で利用することはありません。

日本体育協会は、本講習会における受講管理を業務委託いたします。業務委託先とは、個人情報保護に関する覚書を締結し、個人情報の取扱いについては、十分注意を払っております。

平成25年度 公認コーチ養成講習会 受講希望者個人調書

「受講の手引き」の内容を了承し、下記の通り受講を申し込みます。

記入例

競技名	ラグビーフットボール	種目名		
フリガナ	タイキョウ タロウ	性別	生年月日／年齢(H25年4月1日現在)	
氏名	体協 太郎	男・女	西暦	
※フリガナは必ず記入してください ※必ず捺印してください	※捺印無きもの無効		19 76 年 6 月 5 日(満 36 歳)	
連絡先	〒150 - 8050		TEL	03 - 3481 - 22□●
	住所(都道府県名から記入)		FAX	03 - 3481 - 24□●
	東京都渋谷区神南1-1-1		携帯TEL	090 - 5876 - 33□●
	コーポ○○ 305号		携帯電話mail	j-sports@docomo.ne.jp
	E-mail: j-sports@japan-sports.or.jp			
勤務先	○○県立△△高等学校		TEL	03 - 4455 - 22□●
			FAX	03 - 4455 - 23□●
共通科目受講希望会場 ※免除の有無に関わらず全員記入ください ※必ず第2希望までご記入ください		第1希望		第2希望
		都 市	東京 名古屋・大阪・福岡	東京 名古屋・大阪・福岡
		会場番号	第 3 会場	第 2 会場
現在の指導活動について、以下の該当する項目に○をつけてください。				
指導しているチームまたは競技者の年齢層 小学生・中学生・高校生・大学生・社会人・その他()				
指導しているチームまたは競技者の競技レベル 国際大会レベル・全国大会レベル・県大会レベル・その他()				
受講動機(※具体的にご記入ください)				

■共通科目・専門科目免除申請(※免除の申請を希望する方のみ下記太枠内をご記入ください)

共通科目	する ・ しない
	↓ 「する」に○した方は、下記事項を記入ください。
	1. 日本体育協会公認資格有資格者
	資格名 公認ラグビーフットボール指導員
	登録番号 000●●▽□(7桁)
	有効期限 2015年 3 月 31 日
	2. 免除適応コース共通科目修了証明書取得者
	3. その他()
専門科目	する ・ しない

※免除申請者は、必ず免除証明書類の写しを裏面に添付すること。証明書類の添付がない免除申請は認めない。

■共通科目・専門科目免除審査結果(日本体育協会及び中央競技団体が記入)

共通科目	免除あり: 共通Ⅰ・共通Ⅱ・共通Ⅲを免除とする。	免除内容 確認者	記入しない
	免除なし		
専門科目	免除あり: 専門科目の 全て ・ 一部 を免除とする。	免除内容 確認者	
	免除なし		

※太枠内の事項すべてをご記入ください。記入・捺印漏れの申込書は受付いたしません。十分ご注意ください。

※携帯電話mailについては、講習会や検定試験開催期間中などにおいて、災害発生の際携帯電話の通話ができなくなった場合に連絡するためのものであり、通常の連絡で使用することはありません。

平成25年度 公認コーチ養成講習会 受講希望者個人調書

「受講の手引き」の内容を了承し、下記の通り受講を申し込みます。

競技名		種目名		
フリガナ		性別	生年月日／年齢(H25年4月1日現在)	
氏名		男・女	西暦	
※フリガナは必ず記入してください ※必ず捺印してください	⑩ ※捺印無きもの無効		19 年 月 日(満 歳)	
連絡先	〒 - 住所(都道府県名から記入)	TEL	-	-
		FAX	-	-
		携帯TEL	-	-
		携帯電話mail		
E-mail:				
勤務先		TEL	-	-
		FAX	-	-
共通科目受講希望会場 ※免除の有無に関わらず全員記入ください ※必ず第2希望までご記入ください		第1希望		第2希望
		都 市	東京・名古屋・大阪・福岡	東京・名古屋・大阪・福岡
		会場番号	第 会場	第 会場
現在の指導活動について、以下の該当する項目に○をつけてください。				
指導しているチームまたは競技者の年齢層 小学生・中学生・高校生・大学生・社会人・その他()				
指導しているチームまたは競技者の競技レベル 国際大会レベル・全国大会レベル・県大会レベル・その他()				
受講動機(※具体的にご記入ください)				

■共通科目・専門科目免除申請(※免除の申請を希望する方のみ下記太枠内をご記入ください)

共通科目	する ・ しない
	↓「する」に○した方は、下記事項を記入ください。
	1. 日本体育協会公認資格有資格者
	資格名 登録番号 有効期限 年 月 日
	2. 免除適応コース共通科目修了証明書取得者
	3. その他()
専門科目	する ・ しない

※免除申請者は、必ず免除証明書類の写しを裏面に添付すること。証明書類の添付がない免除申請は認めない。

■共通科目・専門科目免除審査結果(日本体育協会及び中央競技団体が記入)

共通科目	免除あり: 共通Ⅰ・共通Ⅱ・共通Ⅲを免除とする。	免除内容 確認者	
	免除なし		
専門科目	免除あり: 専門科目の 全て ・ 一部 を免除とする。	免除内容 確認者	
	免除なし		

※太枠内の事項すべてをご記入ください。記入・捺印漏れの申込書は受付いたしません。十分ご注意ください。

※携帯電話mailについては、講習会や検定試験開催期間中などにおいて、災害発生の際携帯電話の通話ができなくなった場合に連絡するためのものであり、通常の連絡で使用することはありません。

免除申請に伴う保有資格等登録証を添付下さい。
(二つ折り可)

(注) 登録証の場合、両面の写しを添付下さい。なお、登録証がクレジットカードになっている方は、クレジットカード番号(16桁数字)およびカード裏面の署名欄の番号はマジックなどで塗りつぶしておいて下さい。

の り し ろ

公認コーチ養成 中央競技団体連絡先

平成25年1月18日現在

団体名	郵便番号	住所	電話番号
日本陸上競技連盟	163-0717	新宿区西新宿2-7-1	小田急第一生命ビル17階
日本水泳連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
日本サッカー協会	113-8311	文京区本郷3-10-15	JFAハウス
全日本スキー連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館3階
日本テニス協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
日本ボート協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
日本ホッケー協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館5階
日本アマチュアボクシング連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
日本バレーボール協会	151-0051	渋谷区千駄ヶ谷1-30-8	ダヴィンチ千駄ヶ谷内
日本体操協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館5階
日本バスケットボール協会	141-0031	品川区西五反田2-28-5	第二オークラビル7階
日本スケート連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
日本レスリング協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
日本セーリング連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館5階
日本ウエイトリフティング協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
日本ハンドボール協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館5階
日本自転車競技連盟	107-0052	港区赤坂1-9-3	日本自転車会館3号館3階
日本ソフトテニス連盟	140-0014	品川区大井1-16-2-201	
日本卓球協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
全日本軟式野球連盟	151-0051	渋谷区千駄ヶ谷4-27-7	軟式野球会館
日本相撲連盟	169-0073	新宿区百人町1-15-20	
日本馬術連盟	104-0033	中央区新川2-6-16	馬事畜産会館6階
日本フェンシング協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
全日本柔道連盟	112-0003	文京区春日1-16-30	講道館本館5階
日本ソフトボール協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館3階
日本バドミントン協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館3階
全日本弓道連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
日本ライフル射撃協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館5階
日本ラグビーフットボール協会	107-0061	港区北青山2-8-35	秩父宮ラグビー場クラブハウス内
日本山岳協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
日本カヌー連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
全日本アーチェリー連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4階
全日本空手道連盟	135-0053	江東区辰巳1-1-20	日本空手道会館
日本アイスホッケー連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館5階
全日本銃剣道連盟	102-0091	千代田区北の丸公園2-3	日本武道館内
全日本なぎなた連盟	664-0851	伊丹市中央3-5-8	
全日本ボウリング協会	108-0014	港区芝4-4-10	サンライズ長井ビル8階
日本カーリング協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館5階
日本エアロビクス連盟	140-0011	品川区東大井5-7-10	クレストワン3階
日本ダンススポーツ連盟	135-0063	江東区有明3-4-2	有明センタービル1階

講習会に関するお問い合わせ先

共通科目・講習会全体

公益財団法人日本体育協会 スポーツ指導者育成部 コーチ担当
☎ 03-3481-2226 FAX 03-3481-2284
(営業時間:月～金 9:30～17:30 但し、祝日と12:00～13:00を除く)

専門科目(競技別)

中央競技団体(上記一覧参照)
※各中央競技団体によって、別途連絡先を設けている場合もございます。
ご確認ください。